

## 第3回熊本オープン特別セミナー

### イーキュヒヨン先生・品勢（プンセ）セミナー開催！

10月3日 阿蘇体育館武道場

第3回熊本オープンの特別セミナーとして、大会前日、韓国、前国家代表演武団長であり、1988年ソウル五輪開会式での千人テコンドー演武の総指揮をとられた現、啓明大学教授、イーキュヒヨン先生のプンセセミナーが行われ、岡本依子、樋口清輝選手等有段者以上の17名が約2時間にわたり受講した。

今回は時間的な制約もあり、基本的な動作を中心に行われたが、丁寧でわかりやすい指導に、参加者からは「世界的有名な先生からの指導を受け感無量です。また機会があれば是非参加したい」との声が多く、参加者には、県テコンドー協会からの修了証と李先生からの記念の証が参加者全員に渡された。



プンセセミナー風景

## 菊池市・韓国映画祭でテコンドー演武！

10月12日 菊池市文化ホール



ノービザ運動などで、韓国との交流が盛んな菊池市では、数年前から「韓国映画祭」を開催しているが、今回、県協会へのテコンドー演武の依頼があり、テコンドーのPR普及につながればと、樋口清輝強化委員を中心とした強化部の選手が、オープニングを飾り、約15分の演武を行った。

県協会では、4年前に一度行っているが、テコンドーイコール韓国と言うイメージは、これからも続くだらう。

演武風景

## 韓国・蔚山市文人協会シンポジウムに参加

### 第2回日韓文人交流大会

10月17日 熊本市交通センターホール

県協会の相談役である筑紫汎三先生が会長を務める「熊本むくげの会」は、1976年から毎月1回、今年10月で400回となる月例会を行っている日韓交流の民間団体であるが、今回、韓国、蔚山市との文化交流の依頼があり、むくげの会が主催となりシンポジウムが行われた。蔚山文人協会、熊本むくげの会のメンバーなど約50名が出席、むくげの会の会員でもある樋口会長は、韓国の文化や、日韓の歴史的な関わりなどを勉強することもテコンドー一人には必要と、この日、福永哲法理事、西村紀幸理事、有働公一理事、重松威一郎強化委員の5名が参加、詩の朗読、加藤清正の朝鮮出兵での蔚山城、ソセンボ城築城について松本寿三郎元熊大教授の講話などを熱心に聞いていた。

## 宇土支部 園田裕文師範 めでたく拳式！

10月18日 上天草市岬亭

宇土支部長であり県協会の理事職でもある園田幸二氏の御子息、園田裕文師範4段がこの度、めでたくゴルイン。結婚披露宴が上天草市松島の岬亭で盛大に行われた。新婦の由紀さんはとてもチャーミングで、新郎の裕文師範も自慢げ、県協会からは樋口会長が出席し二人を祝福した。宇土道場の教え子達によるテコンドー演武も行われ、和やかな祝宴となった。末永くお幸せに。



園田ご夫婦

## 樋口清輝選手、母校で記念講演

10月18日 阿蘇北中学体育館



樋口清輝選手の母校である阿蘇北中学校は、今年創立50周年を迎えたが、今回、その記念事業として、シドニー五輪に出場した樋口選手の記念講演が行われた。「一步前に出る勇気」と題して、日本人としては初となる高校テコンドー留学での厳しい練習、日本との文化、風習の違いなどを乗り越えながらも、シドニー五輪への出場を果たしたことや、母校での剣道部での思い出等を語った。講演の最後には、樋口選手、阿蘇の道場生によるテコンドー演武が行われ、約90分の講演会は無事終了した。

演武風景

# テコンドーくまもと TAEKWONDO KUMAMOTO

2009.10 ▶ 2009.12



役員記念撮影

## 韓国選手も参戦！第3回熊本オープン MVPに地元・中山北斗選手！ 10月4日 阿蘇市阿蘇体育館

第3回となる熊本オープン、今年は、静岡、大阪、九州各県に韓国、大邱市からの総勢223名の選手が参加して盛大に開催された。オープニングでは、地元阿蘇市の赤水保育園の園児による歓迎子供太鼓や熊本市の女子中学生によるヒップホップダンスなど歓迎ムード満載のオープニングとなった。開会式では、樋口悦夫大会会長が、この大会は「Let's enjoy Taekwondo」をスローガンとして掲げ、参加した全員がこの大会を大いに楽しんで下さいと挨拶、来賓挨拶では、佐藤義興 阿蘇市長が応援団風のエールで選手を激励した。

イー・キュヒヨン先生の  
特別模範演武



熊本強化の選手

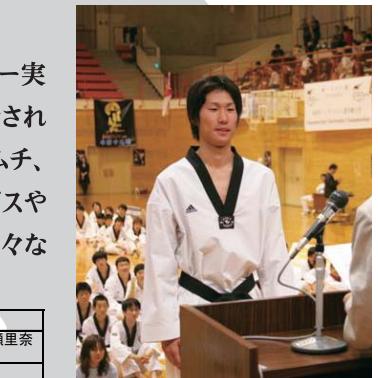
韓国・前国家代表演武団団長、イーキュヒヨン先生によるプンセ（型）の貴重で素晴らしい模範演武のあとは、ジュニアから一般の個人戦26階級と団体戦で熱戦が繰り広げられた。

一般有段の部では、男子 -58kg級は熊本勢同士の決勝戦となり地元、中山北斗選手（強化）が渡辺雄二選手（学園大）を下し優勝、男子 -68kg級、-80kg級、+80kg級では、韓国選手が勝利。女子では2階級実施の中、地元、津田ひかる選手が佐賀の濱田真由選手に勝って -49kg級を制したが、-57kg級は韓国、チャン選手が貫禄を見せて優勝、韓国選手は男女全6階級のうち4階級で優勝し、改めて、本場の強さを見せつけた結果となった。個人戦の後に行われたサンドレスによる団体戦には、7チームが参加、選手の一挙一蹴に歓声があがる盛り上がりを見せ、決勝戦は熊本強化チームと福岡チームの対戦となり熊本強化チームが勝利した。

今回の大会では、大型モニターをロビーに設置してのテレビモニター実況や決勝戦をわかりやすくするため、試合前に選手がコートを回るなど、観客の視線での配慮もなされていたようだ。また、ロビー内では、写真の展示コーナー、岡本依子選手のブース、屋外テントでは、キムチ、飲料水、弁当、テコンドー用品、地元の物産なども販売された他主催者による豚汁の無料サービスや9月に株式会社丸美屋さんから発売された「テコンドー応援納豆」の選手へのプレゼントなど、様々な試みがなされ、大会を盛り上げていた。

大会の模様は、夕方の熊本県民テレビのニュースで放送された。

|             |                                   |
|-------------|-----------------------------------|
| 最優秀選手賞(MVP) | 中山 北斗                             |
| 優秀選手賞       | 廣瀬 翔平 高梨 宏貴 定岡 瑞那 谷口 瀬里奈<br>中西 一将 |
| ベストパフォーマンス賞 | 永坂 琦央                             |



※大会結果の詳細はホームページに掲載

## 熊本学園大テコンドー道場開き! 10月9日 熊本学園大学第二体育館

昨年度、同好会として発足した熊本学園大テコンドー部、今年、早くも部への昇格を果たしたが、今回、第二体育館内の一室（約2コート分の広さ）をテコンドー専用道場として使用出来ることとなり、その記念すべき道場開きが行われた。

テコンドーに対して積極的な理解を示している同校の坂本正学長を初め、熊本市テコンドー協会の顧問にも就任されている北井和利先教授など学園大の先生方と県協会を代表して樋口会長が出席、冒頭、坂本学長から、この道場から全国、国際大会などで活躍する選手が数多く輩出されることを願っていますと挨拶、樋口会長は、熊本、九州の大学強化の要として強化指定校に認定したが、こんなにも早くに専用道場として使用出来ることに、坂本学長はじめ学園大学の関係者の皆様に県協会を代表してお礼申し上げたいと挨拶、今年4月から正式に監督として就任した樋口清輝、選手強化委員の指揮のもと、強化選手など10名が参加し基本、ミット蹴りなどを行った。

## 後期理事会開かる! 10月31日 県協会本部事務所

本年度の後期理事会が10月31日、県協会本部事務所で理事12名（委任4名）及びオブザーバー3名が出席して行われた。会議は、10月4日に主催した熊本オープンの反省、収支報告の件の他、後期の事業計画、11月開催の九州学生大会などの件について審議された。

## 熊本国際交流祭典、テコンドー演武! 11月1日 熊本市交通センター特設広場

毎年、開催されている熊本国際交流祭典は、県内の国際交流団体が年に一度、各団体の様々な活動をPRし、国際交流への理解と協力をテーマとしているが、県協会もその加盟団体の一つである。今回は、ステージ部門への参加となり阿蘇道場の子供達、強化部の選手により約20分間にわたり基本、ミット蹴り、キヨッパ（板割り）などの演武を行った。会場に詰めかけた観客はテコンドーのスピーディで迫力ある技に歓声を上げていた。

## 個人戦9階級中6階級で優勝!団体戦は熊大Aが頂点に! 第7回九州学生選手権大会 11月8日 熊本学園大学体育館

第7回全九州学生選手権大会は、熊本学園大学体育館に九州各县10大学から、個人戦、団体戦に約100名が出席して開催された。県勢は崇城大、熊本大、熊本学園大の3大学から25名が出場し九州学生ナンバー1を目指し熱戦が繰り広げられた。開会式では、坂本正熊本学園大学学長が、競技力の向上と学生間の交流を行い素晴らしい大会になる様と来賓祝辞、また、樋口県協会長は、第1回大会をここ熊本県で開催してから7回目となるが、学生による学生のための大会として運営全体を学生主体で行う意義は大きい、この大会をより一層、皆さん之力と熱意で今後も開催してほしいとの激励がなされた。渡辺雄二実行委員長のお礼の挨拶後、試合開始となった。

県勢は、男子5階級実施の中、4階級で優勝。また、女子も実施4階級の中2階級で優勝する大活躍となった。個人戦後に行われた団体戦では、14チームがサンドレスによるトーナメント戦を戦い、高八重、溝見、平野選手の4回生チームで臨んだ熊本大学Aチームが、福岡大学Bチームを下して団体戦を制した。最優秀選手MVPには昨年度の全日本学生選手権2位で今大会-54kg級を制した熊本学園大の渡辺雄二選手が選ばれた。

## 冬季昇級審査会開かる! 12月6日 熊本県民運動公園体育館

今年最後となる、昇級審査会が県内各支部、大学等からの73名が参加し審査に臨んだ。基本動作、移動蹴り、パンセ（型）キヨルギ等を受験者は真剣に取り組んでいた。

西村紀幸県強化委員長と樋口清輝学園大監督



練習風景

演武風景

演武風景



認定証授与

※大会結果の詳細はホームページに掲載

## 全日本学生 県勢3選手が3位入賞! 第3回全日本学生選手権大会 11月21日 東京都岸記念体育会館

本年度の全日本学生選手権大会は11月21日、東京、岸記念体育会館で全国42校が参加し男子8階級、女子5階級に145名が出場して開催された。県協会からは6名の選手が出席。男子-58kg級で廣瀬翔平選手（学園大）、-68kg級で松本宇生選手（熊本大）、+87kg級で野口嘉津馬選手（熊本大）が3位に入賞する活躍となった。

今回、最多出場者数29名の階級となった-58kg級で3位入賞を果たした廣瀬選手は、九州学生大会での屈辱を跳ね返した感があるが、準決勝では大阪経済法科大のカンドンチヨル選手に敗れ実力差を実感。しかし初の全日本学生での入賞は今後の自信に大いにつながることだろう。-68kg級で3位入賞の松本選手も22名のエントリーの中2回戦からの試合となり11-2、3回戦8-4と順調に勝ち進んだが、準決勝は宮崎大の濱田選手に4-6で惜しくも敗れ決勝進出はならなかった。+87kg級の野口選手は、準決勝0-0でサンドレスとなり、上田選手（京都大）に1ポイント先取され準決勝敗退。また、男子-54kg級で期待された渡辺雄二選手（学園大）だったが、オルグル（顔面）への蹴りをもらい懸命に追いかけるも1ポイント及ばず新ルールに苦しみ初戦で残念ながら敗退。また、8日に開催された九州学生大会-58kg級で優勝した望月一馬選手は、今回、1階級下げ-54kg級で出場したが初戦、名門大東文化大、作田選手に敗れ全国の厚い壁に涙をのんだ。女子-46kg級出場の江藤選手も初戦をサンドレスで勝利したが、2回戦で敗れた。



試合風景

## 宇土道場5階級でVI! 県ジュニア選手権大会 第12回熊本県ジュニア選手権大会・第14回県新人戦大会 11月22日 熊本市浜線健康パーク体育館

今年、県協会主催大会の最後を締めくくる県ジュニア選手権及び新人戦大会は22日、熊本市浜線健康パーク体育館に県内各支部道場、大学クラブなどから98名が参加して開催された。午前中行われた開会式では、金泰植元民団熊本県地方本部団長が、「テコンドーは、韓国の国技として今や世界中に普及していますが、テコンドーを通じての更なる日韓の友好交流が進められることを願っています」と挨拶。県私学振興協会から県スポーツ優秀選手として表彰された津田ひかる選手に表彰状が贈られ、樋口会長が代読、今年7月の全日本ジュニア選手権の優勝などが評価され県内から個人8選手が選出された一人として贈られた。

競技は、キヨルギ、パンセの2競技で実施されたが、パンセ団体では、徳永三兄弟で臨んだ託麻道場がうれしい初優勝となった。キヨルギ競技は、5階級を制した宇土道場、4階級を制した阿蘇道場の活躍が際立ったが、初参加となった武道館道場も健闘。2階級で優勝した。また、同時開催の新人戦大会だが、8日に開催された九州学生選手権大会との試合日程が近かかつたせいか、今回、主力の大学生の参加が少なく寂しい大会となつたが、軽量級で水前寺支部の東悟史選手、重量級で崇城大の廣瀬開選手がそれぞれ優勝した。新型インフルエンザの影響で棄権者もあったが、体育館内は熱い戦いが繰り広げられた。

## 「オリンピックへの道」岡本依子・樋口清輝・講演会に200名! 熊本学園大学主催 第2回健康スポーツフォーラム2009 11月23日 熊本学園大学大ホール

熊本学園大学「ライフ・ウェルネス学科」は、福祉とスポーツを融合させたユニークな学科として今年4月に開設されたが、それを記念してアスリート講演会が、「オリンピックへの道」と題し、ともにシドニーオリンピックへの出場を果たした岡本依子さん、今年5月、同大学のテコンドー部の監督に就任した樋口清輝選手が、「夢は叶う」の演題で約1時間にわたり夢の実現に向けての苦労話などを語った。板割りやリンゴ蹴りなどの演武も披露、講演に詰めかけた中、高生からは初めてみるテコンドーの演武に驚きと歓声があがつた。場所を体育館に移しての実技指導では約60人が参加、基本蹴りやミット蹴りなど初めてのテコンドー体験を楽しんでいた。講演の模様は夕方のKAB熊本朝日放送で放送された。



講演風景

## 支部長会議・指導者セミナー開催! 12月6日 託麻北コミュニティセンター

本年度の第2回支部長会議と指導者セミナーが、6日、託麻北コミュニティセンターで15名が出席して行われた。午後1時からの指導者セミナーでは、テコンドーの歴史、県協会の歩み、指導者としての心構え、道場経営などについて樋口会長が約3時間に亘りレクチャーした。その後、支部長会議となり、各支部の現状や課題、会員獲得の方法、本年度の各委員会の活動報告及び反省点、来年度の行事計画案などについて各支部長から意見が出された。支部長会議で出された各案件については、来年度の理事会にて審議される。